



2026年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月27日

上場会社名 株式会社ラクーンホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3031 URL https://www.raccoon.ne.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小方 功
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当副社長 (氏名) 今野 智 (TEL) 03-5652-1711
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年4月期第3四半期の連結業績(2025年5月1日~2026年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年4月期第3四半期	4,811	5.5	974	2.3	892	△20.1	579	△12.1
2025年4月期第3四半期	4,559	6.0	952	104.7	1,117	139.3	659	112.3

(注) 包括利益 2026年4月期第3四半期 679百万円(1.6%) 2025年4月期第3四半期 668百万円(115.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年4月期第3四半期	28.52	28.27
2025年4月期第3四半期	30.98	30.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年4月期第3四半期	18,277	4,821	25.3	227.84
2025年4月期	16,217	4,584	27.3	217.42

(参考) 自己資本 2026年4月期第3四半期 4,632百万円 2025年4月期 4,419百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年4月期	—	10.00	—	12.00	22.00
2026年4月期	—	11.00	—		
2026年4月期(予想)				16.00	27.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2026年4月期(予想) 期末配当の内訳: 普通配当 11円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2026年4月期の連結業績予想(2025年5月1日~2026年4月30日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,740	10.5	1,410	12.4	1,400	0.2	900	7.5	44.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年4月期3Q	22,262,043株	2025年4月期	22,258,943株
② 期末自己株式数	2026年4月期3Q	1,930,310株	2025年4月期	1,930,310株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年4月期3Q	20,330,014株	2025年4月期3Q	21,300,314株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料はT D n e t で同日に開示いたします。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間(2025年5月1日～2026年1月31日)における我が国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移いたしました。一方でアメリカの関税政策の影響等による景気の下振れリスクや、円安やインフレの長期化による個人消費の下振れ懸念は続いており、先行き不透明感が依然として残る状況にあります。

このような状況の中、当社は「ラクーンBtoBネットワーク」構想をグループ経営方針(長期ビジョン)として掲げております。本構想は各サービスの顧客をグループの共通顧客と捉え直し、グループ全体で顧客ニーズに応えるサービス展開を推し進めるとともに、グループサービスには当社グループが運営するサービスだけではなく提携企業が運営するサービスも加えていく、両輪での展開を図ることで当社グループの事業成長を加速していく重要戦略であります。当社は、本構想の実現に向け、株式会社アドバンテッジパートナーズとの間で、2025年11月28日付けで事業提携契約を締結し、成長戦略の加速及び実行力を高める取り組みを推進しております。この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は4,811,812千円(前年同期比5.5%増)となりました。なお、前期第3四半期より株式会社ラクーンレント(家賃保証事業)が連結子会社から除外された影響により連結売上高の成長率は抑制されております。

費用面におきましては、その他費用が株主優待コストの計上と、EC事業においてアメリカの関税の影響により第2四半期まで海外送料等が増加した影響で前年同期比23.1%増となりました。一方で広告宣伝費は前年同期比6.2%増、人件費は前年同期比5.1%増とそれぞれ1桁増加となり販売費及び一般管理費は前年同期比9.6%増となりました。この結果、営業利益は974,545千円(前年同期比2.3%増)、転換社債型新株予約権付社債及び新株予約権の発行に伴う支払手数料の増加等の影響により、経常利益は892,280千円(前年同期比20.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は579,847千円(前年同期比12.1%減)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

① EC事業

EC事業の主力事業である「スーパーデリバリー」は、購入客数の増加と客単価の向上により流通額を増加させることに取り組んでおります。

国内は、LTV(顧客生涯価値)が高い傾向があるオーガニック流入による会員の獲得を増加させていくために、今期からはSEO対策の強化にも取り組んでおります。当第3四半期においては、会員のウォレットシェア拡大を目的としたクーポン・ポイント付与施策にも取り組みました。これにより購入客数は若干減少しましたが、一方で購入客単価は大幅に増加し、国内流通額の成長を牽引した結果、前年同期比10.5%増となりました。

海外は、低迷が続いている香港や関税の影響を受けているアメリカを中心に購入客数が減少しました。しかしながら、購入客単価はアメリカでも増加が継続している他、高い成長率が続くEU・オーストラリア圏も含め多くの地域において増加が続いており、海外全体の購入客単価は過去最高を更新しております。この結果、海外流通額は前年同期比6.9%増になり、当第3四半期連結累計期間の「スーパーデリバリー」の流通額は22,416,218千円(前年同期比9.5%増)となりました。

この結果、EC事業の売上高は2,838,699千円(前年同期比7.6%増)となりました。費用面においては、人件費が前年同期比20.0%増となりました。加えて、アメリカの関税の影響等により海外送料等が第2四半期まで増加した影響によりその他費用が前年同期比で31.2%増となり、販売費及び一般管理費は15.2%増となりました。この結果、セグメント利益は934,738千円(前年同期比2.2%増)となりました。

② フィナンシャル事業

「Paid」におきましては、加盟企業の獲得増加を継続するとともに、加盟企業単価を向上させることに取り組んでおります。取扱高は順調な成長が継続しており、グループ外の取扱高は34,131,364千円(前年同期比11.3%増)、全体の取扱高(グループ内の取扱高10,028,838千円を含む)は、44,160,202千円(前年同期比10.8%増)となりました。

「URIHO」におきましては、契約者数を増やすことにより保証残高を増加させ、売上高成長に繋げることに取り組んでおります。当第3四半期連結会計期間末の保証残高は、71,841,333千円と前期末比14.0%増となりました。

なお、前期第3四半期より株式会社ラクーンレント(家賃保証事業)が連結子会社から除外されました。この影響を受けた結果、フィナンシャル事業の売上高は2,234,247千円(前年同期比3.4%増)となりました。

費用面においては、当社の与信審査の適切なコントロールにより売上原価率は低い水準を継続しております。人件費や広告宣伝費など費用は全般的に低水準で推移しており、販売費及び一般管理費は前年同期比4.0%増となった結果、セグメント利益は620,675千円(前年同期比8.4%増)となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 財政状態

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末より2,059,637千円増加して18,277,475千円になりました。流動資産は1,894,193千円増加して15,207,150千円になりました。増加の主な要因は、転換社債型新株予約権付社債及び新株予約権の発行等により現金及び預金が1,391,204千円増加したことと、取引の増加に伴い売掛金が797,873千円増加したことによるものです。固定資産は165,443千円増加して3,070,324千円になりました。増加の主な要因は、投資有価証券が時価評価等に伴い145,857千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末より1,822,617千円増加して13,456,182千円になりました。流動負債は137,412千円減少して10,556,933千円になりました。減少の主な要因は、取引の増加に伴い買掛金が347,081千円増加した一方で、返済により短期借入金300,000千円減少したことと、納付により未払法人税等250,944千円減少したことによるものです。固定負債は1,960,029千円増加して2,899,248千円になりました。増加の主な要因は、転換社債型新株予約権付社債2,000,000千円を発行したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は237,019千円増加して4,821,293千円になりました。増加の主な要因は、配当金の支払いにより利益剰余金が470,574千円減少した一方で、親会社株主に帰属する四半期純利益579,847千円の計上により利益剰余金が増加したことと、その他有価証券評価差額金が99,774千円増加したことによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末より1,387,669千円増加して5,718,210千円となりました。当第3四半期連結結果計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は425,004千円となりました。この主な要因は、売上債権の増加797,873千円により資金が減少した一方で、税金等調整前四半期純利益892,280千円及び仕入債務の増加347,081千円により資金が増加したことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は218,425千円となりました。この主な要因は、ソフトウェア開発等による無形固定資産の取得による支出147,198千円及び投資有価証券の取得による支出87,500千円を計上したことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は1,181,090千円となりました。この主な要因は、配当金の支払額470,574千円と短期借入金の純減額300,000千円により資金が減少した一方で、転換社債型新株予約権付社債の発行による収入1,988,366千円により資金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月期の連結業績予想につきましては、2025年6月12日の公表時より変更はありません。

上記に記載した将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,340,522	5,731,726
売掛金	8,843,581	9,641,454
求償債権	19,719	24,206
貯蔵品	57	76
前払費用	228,945	111,366
その他	264,460	190,329
貸倒引当金	△384,329	△492,009
流動資産合計	13,312,957	15,207,150
固定資産		
有形固定資産		
建物	620,329	620,960
減価償却累計額	△154,087	△171,715
建物(純額)	466,241	449,245
工具、器具及び備品	89,630	92,621
減価償却累計額	△45,261	△56,292
工具、器具及び備品(純額)	44,368	36,329
土地	882,140	882,140
有形固定資産合計	1,392,750	1,367,714
無形固定資産		
ソフトウェア	301,247	382,664
ソフトウェア仮勘定	139,594	111,971
その他	632	475
無形固定資産合計	441,474	495,111
投資その他の資産		
投資有価証券	681,766	827,623
敷金及び保証金	15,757	16,419
繰延税金資産	373,082	363,405
その他	50	50
投資その他の資産合計	1,070,656	1,207,498
固定資産合計	2,904,881	3,070,324
資産合計	16,217,838	18,277,475

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,195,870	9,542,952
短期借入金	300,000	—
1年内返済予定の長期借入金	45,000	45,000
未払金	216,482	243,171
未払法人税等	368,261	117,317
保証履行引当金	188,143	188,971
賞与引当金	111,801	47,227
販売促進引当金	56,150	50,280
預り金	15,195	63,994
その他	197,439	258,019
流動負債合計	10,694,345	10,556,933
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	2,000,000
長期借入金	881,250	847,500
その他	57,968	51,748
固定負債合計	939,218	2,899,248
負債合計	11,633,564	13,456,182
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,877,096	1,878,917
資本剰余金	1,276,914	1,278,735
利益剰余金	3,064,598	3,173,870
自己株式	△1,808,827	△1,808,827
株主資本合計	4,409,782	4,522,696
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,994	109,768
その他の包括利益累計額合計	9,994	109,768
新株予約権	164,495	188,827
純資産合計	4,584,273	4,821,293
負債純資産合計	16,217,838	18,277,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
売上高	4,559,234	4,811,812
売上原価	858,574	824,731
売上総利益	3,700,659	3,987,080
販売費及び一般管理費	2,748,366	3,012,535
営業利益	952,293	974,545
営業外収益		
受取利息及び配当金	404	3,360
受取手数料	8,208	2,381
投資事業組合運用益	164,577	—
その他	2,429	3,174
営業外収益合計	175,618	8,917
営業外費用		
支払利息	7,073	9,615
支払手数料	1,131	2,598
投資事業組合運用損	—	61,518
自己株式取得費用	2,421	—
社債発行費	—	11,633
新株予約権発行費	—	5,752
その他	158	63
営業外費用合計	10,785	91,181
経常利益	1,117,126	892,280
特別損失		
事業整理損	123,027	—
関係会社株式売却損	26,563	—
特別損失合計	149,590	—
税金等調整前四半期純利益	967,535	892,280
法人税等	307,555	312,433
四半期純利益	659,980	579,847
親会社株主に帰属する四半期純利益	659,980	579,847

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
四半期純利益	659,980	579,847
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8,942	99,774
その他の包括利益合計	8,942	99,774
四半期包括利益	668,923	679,621
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	668,923	679,621

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	967,535	892,280
減価償却費	111,079	118,185
株式報酬費用	29,287	15,597
貸倒引当金の増減額(△は減少)	128,140	107,679
保証履行引当金増減額(△は減少)	7,599	827
受取利息及び受取配当金	△404	△3,360
支払利息	7,073	9,615
投資事業組合運用損益(△は益)	△164,577	61,518
事業整理損	123,027	—
関係会社株式売却損益(△は益)	26,563	—
売上債権の増減額(△は増加)	△343,646	△797,873
求償債権の増減額(△は増加)	△4,460	△4,487
棚卸資産の増減額(△は増加)	49	△19
仕入債務の増減額(△は減少)	62,814	347,081
預り金の増減額(△は減少)	15,499	48,798
前受金の増減額(△は減少)	△2,747	35,163
前払費用の増減額(△は増加)	98,573	117,579
未払又は未収消費税等の増減額	32,817	7,950
その他	△102,813	62,844
小計	991,412	1,019,383
利息及び配当金の受取額	404	3,360
利息の支払額	△7,286	△9,557
事業整理に伴う支出	△164,452	—
法人税等の支払額	△256,962	△588,262
法人税等の還付額	220,538	80
営業活動によるキャッシュ・フロー	783,652	425,004
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,765	△3,622
無形固定資産の取得による支出	△127,660	△147,198
投資有価証券の取得による支出	△75,000	△87,500
定期預金の払戻による収入	500	—
投資事業組合からの分配による収入	2,430	20,556
敷金及び保証金の差入による支出	△16	△711
敷金及び保証金の回収による収入	630	49
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△90,987	—
その他	△100	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△291,968	△218,425
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△33,750	△33,750
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	1,988,366
新株予約権の発行による収入	—	6,619
配当金の支払額	△322,549	△470,574
新株予約権の行使による株式の発行による収入	23	3
自己株式の取得による支出	△476,516	—
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△300,000
その他	△8,269	△9,573
財務活動によるキャッシュ・フロー	△841,062	1,181,090
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△349,377	1,387,669
現金及び現金同等物の期首残高	4,613,379	4,330,540
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,264,002	5,718,210

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年5月1日 至 2025年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,639,134	1,920,099	4,559,234	—	4,559,234
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	239,667	239,667	△239,667	—
計	2,639,134	2,159,767	4,798,901	△239,667	4,559,234
セグメント利益	914,779	572,448	1,487,227	△534,934	952,293

(注) 1. セグメント利益の調整額△534,934千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年5月1日 至 2026年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	フィナンシャル 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	2,838,699	1,973,113	4,811,812	—	4,811,812
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	261,134	261,134	△261,134	—
計	2,838,699	2,234,247	5,072,947	△261,134	4,811,812
セグメント利益	934,738	620,675	1,555,413	△580,867	974,545

(注) 1. セグメント利益の調整額△580,867千円には、各報告セグメントに配分していない全社収益及び全社費用が含まれております。なお、全社収益は、主に各事業セグメントからの経営指導料等であり、全社費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(自己株式の消却)

当社は、2026年2月9日付の会社法第370条および当社定款第25条に定める取締役会の決議に代わる書面決議によって、会社法第178条の規定に基づき、自己株式の消却を行うことを決議し、2026年2月20日付で自己株式を消却しております。

1. 消却した株式の種類	当社普通株式
2. 消却した株式の総数	1,000,000株 (消却前の発行済株式総数に対する割合 4.49%)
3. 消却実施日	2026年2月20日